

USHIO

2020年3月期 第3四半期 決算説明会

ウシオ電機株式会社

2020年1月31日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

*2020年3月期 = FY2019

FY2019 3Q（実績）：

前年同期比 **減収減益決算** で推移した理由について

FY2019 通期（予想）：

通期公表値を据え置き とする理由について

I. FY2019 3Q 業績概況

II. FY2019 今後の見通し

III. トピックス

IV. 参考資料

売上高 : 1,200億円 (前年同期比▲23億円、▲1.9%)

対通期公表値 進捗率 70.6%

減収：【光源】関連市況の低迷 及び 固体光源化によるランプ需要減

増収：【装置_映像】RGBレーザープロジェクター販売拡大

営業利益 : 63億円 (前年同期比▲5億円、▲8.1%)

対通期公表値 進捗率 63.5%

減益：【光源】減収に伴い減益

増益：【装置_映像】増収 及び 構造改革実行により増益

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : 88億円 (前年同期比+31億円、+55.4%)

対通期公表値 進捗率 76.7%

特別利益：投資有価証券売却益 (FY19_3Q：54億円、FY18_3Q：17億円)

※為替平均レート (FY19_3Q) : 1USドル=109円

売上高・損益

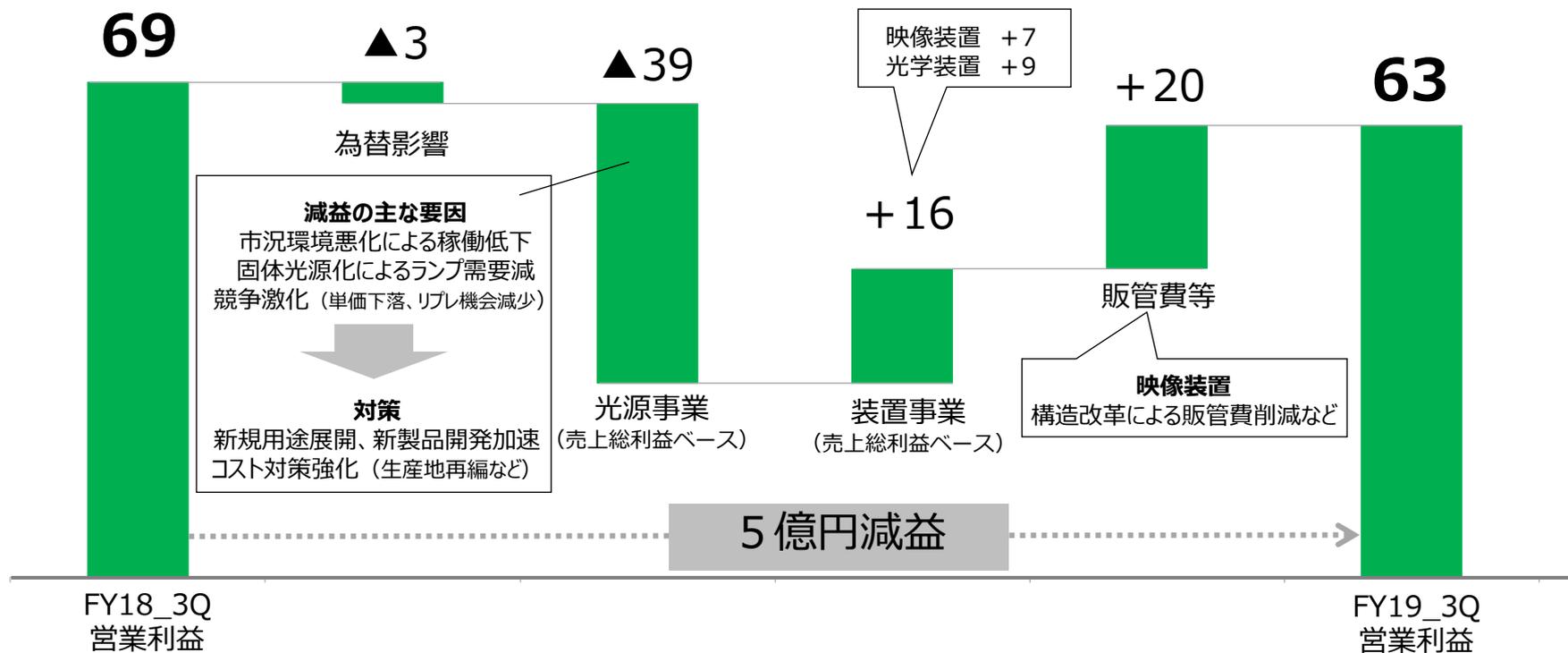
単位：億円		FY18 3Q	FY19 3Q	前年同期比	
				増減	%
売上高		1,223	1,200	▲23	▲1.9
営業利益		69	63	▲5	▲8.1
営業利益率(%)		5.6	5.3	▲0.4P	—
経常利益		94	84	▲10	▲11.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益		56	88	+31	+55.4
EPS (円)		44.43	71.71	+27.28	+61.4
為替レート (円)	USD	111	109	▲2	-
	EUR	130	121	▲9	-

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

前年同期比 営業利益増減分析

単位：億円



注：「光源事業（売上総利益ベース）」～「販管費等」の要因は、「為替影響」を除いた金額。

セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

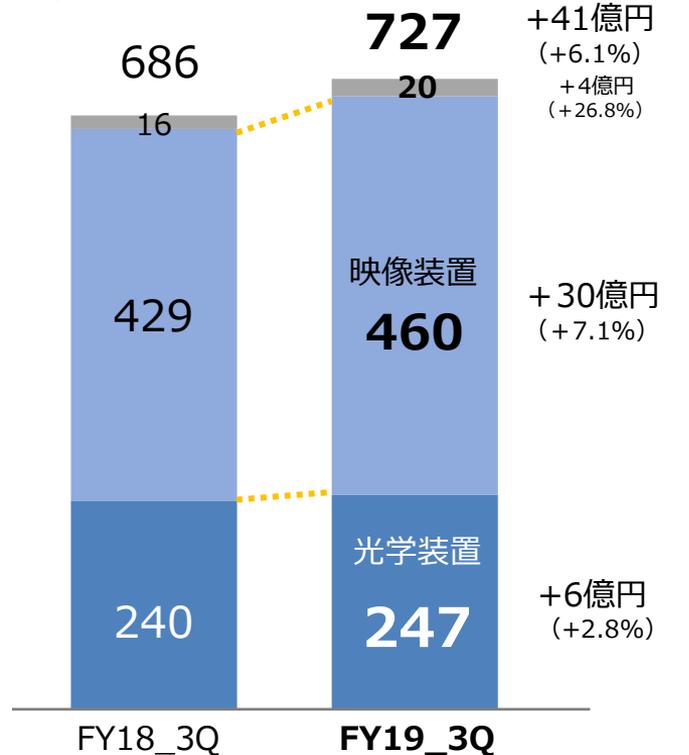
単位：億円		FY18 3Q	FY19 3Q	前年同期比	
				増減	%
装置事業	売上高	686	727	+41	+6.1
	営業利益	▲2	14	+17	+618.9
	営業利益率 (%)	▲0.4	2.0	+2.4P	-
光源事業	売上高	516	448	▲68	▲13.2
	営業利益	67	46	▲20	▲30.5
	営業利益率 (%)	13.0	10.4	▲2.6P	-
その他	売上高	21	24	+3	+15.0
	営業利益	0	0	▲0	▲39.0
	営業利益率 (%)	3.4	1.8	▲1.6P	-
全社・消去	営業利益	4	1	▲2	▲51.6

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

セグメント別売上高 概況

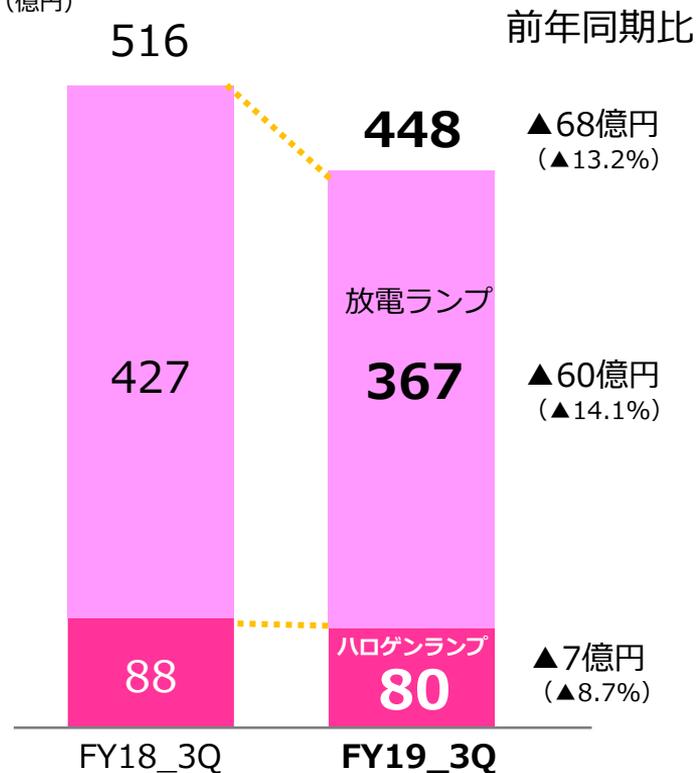
■ 装置事業

(億円)



■ 光源事業

(億円)



注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

事業環境 および セグメント別売上高 概略

エレクトロニクス分野

事業環境	半導体、FPD及びプリント基板など関連市場の稼働及び投資は総じて低調 <ul style="list-style-type: none"> － 中国で大型液晶パネル向けに設備投資、今後の投資の主体は液晶からOLEDに移行 － パネル供給過剰により韓国などでパネル生産の稼働が低調 － スマートフォン販売不振により関連市場は低迷 	
装置事業	光_UV装置 ▲14億円 ▲10%	<ul style="list-style-type: none"> ・ SAWフィルター新規設備投資一巡により電子デバイス向け投影露光装置は減少 ・ ディスプレイの狭額緑化に伴いCOF向け露光装置の販売が増加
	光_キュア装置 +19億円 +46%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国における大型液晶パネルの設備投資により、液晶関連装置の販売が増加
光源事業	放_UVランプ ▲22億円 ▲20%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国を中心とした液晶パネルの生産調整によりリプレイス需要が減少 ・ パネル供給過剰によるパネル価格下落により単価が下落

注：記載の数値（金額、%）は前年同期比

事業環境 および セグメント別売上高 概略

ビジュアルイメージング分野

事業環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映画館新設数は鈍化傾向も、今後は映画館におけるプロジェクター更新需要が徐々に増加 ・ シネマ、一般映像ともに固体光源プロジェクターの採用が拡大 ・ ハイエンドの映像機器需要は、エンターテインメント市場を中心に安定的に推移 	
装置事業	映_シネマ +36億円 +18%	<ul style="list-style-type: none"> ・ RGBレーザープロジェクターの販売拡大 ・ 収益性は想定以下で推移
	映_一般映像 ▲6億円 ▲3%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下位モデルは競争激化により販売が減少 ・ RGBレーザープロジェクターの販売拡大
光源事業	放_シネマ用ランプ° ▲19億円 ▲17%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固体光源化により需要が減少 ・ ランプ需要減少に伴い競争激化し単価が下落
	放_データ プロジェクター用ランプ° ▲8億円 ▲16%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固体光源化加速により、ランプ需要が減少
	ハ_OA用ランプ° +0億円 +0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ O A 機器需要は鈍化も、高付加価値な環境対応ランプ販売が増加

注：記載の数値（金額、%）は前年同期比

- I. FY2019 3Q 業績概況
- II. FY2019 今後の見通し
- III. トピックス
- IV. 参考資料

変更なし

単位：億円	FY19 3 Q	FY19 通期公表値	進捗率 (%)
売上高	1,200	1,700	70.6
営業利益	63	100	63.5
営業利益率 (%)	5.3	5.9	-
経常利益	84	120	70.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	88	115	76.7
EPS (円)	71.71	94.17	76.2
1株当たり配当額 (円)	-	50	-
配当性向 (%)	-	53.1	-
為替レート (円)	USD	109	-
	EUR	121	-

サブセグメント別売上高 進捗率／4Qの動向

単位：億円

		FY19 通期予想	FY19 3Q	進捗率 (%)	4Qの動向 (矢印は、対3Q)	
売上高	装置事業	映像装置	590	460	78.0	シネマ：RGBレーザープロジェクターは堅調に推移 一般映像：4Qのアミューズメントパーク向け案件が寄与
		光学装置	400	247	61.8	最先端ICパッケージ向け投影露光装置：4Qより販売拡大 プリント基板向けDI露光装置：5G等を背景に緩やかに増加 マスク検査用EUV光源：販売増加
		照明装置他	20	20	103.7	
		小計	1,010	727	72.1	
	光源事業	放電ランプ	540	367	68.0	シネマ用ランプ：厳しい市場環境が継続 UVランプ：需要回復傾向も、各関連市場の本格的な回復は来期以降
		ハロゲンランプ	115	80	70.4	OA用途：関連市場は鈍化傾向も、環境対応ランプが堅調に推移
		小計	655	448	68.4	
	その他	産業機械他	35	24	69.7	
	合計		1,700	1,200	70.6	懸念事項：中国景気の減速継続

- I. FY2019 3Q 業績概況
- II. FY2019 今後の見通し
- III. トピックス**
- IV. 参考情報

1株当たり配当額及び配当性向

2019年3月期末（実績）：50円（56.3%）

2020年3月期末（計画）：50円（53.1%）



自社株買い

2018年12月20日公表の自社株買い

上限100億円

(800万株)

2018年12月21日～2019年12月20日

取得終了

(2019年12月10日)

買付金額：100億円

買付株式数：722万株

自己株式消却

2020年2月21日付で6,628,721株の消却を決議
(消却後における自己株式の発行済株式総数割合：4.8%)

株主還元方針

当社は、株主各位に対する利益還元が企業として最重要課題の一つであることを常に認識し、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主各位に対し**安定的・継続的な利益還元を行うことを基本方針**としております。**自己株式の取得は機動的に実施**します。保有する自己株式の上限は、**発行済株式総数の5%を目途とし、その部分を上回る自己株式については毎年消却**していきます。

- I. FY2019 3Q 業績概況
- II. FY2019 今後の見通し
- III. トピックス
- IV. 参考資料**

分割投影露光装置 (UX-5)

製造、販売

(先端パッケージ基板の配線形成)

装置
販売

最先端・次世代パッケージの
需要拡大

パッケージ基板メーカー

チップ実装
サーバー搭載

IoT進展に伴う大容量かつ高速データ処理用
データセンター向けサーバーの需要増加

データセンター市場

年率20%以上成長 (自社調べ)

⇒ 次世代パッケージ基板の採用拡大

● **世界シェア95%** ハイエンドBGA基板露光市場 (自社調べ)



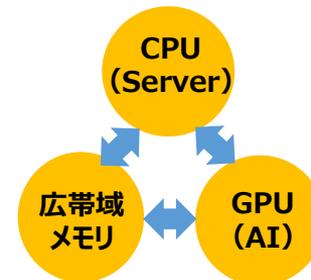
分割投影露光装置 (UX-5)
販売動向

FY19
下期より売上貢献

FY20以降
販売台数拡大

● **UX-5の強み (特長)**

1. 大面積一括投影露光
→ 高生産性、低CoO
2. マスクワーク非接触
→ 歩留まり向上
3. 広い焦点深度
→ プロセスマージン・基板反り対応
4. 高い解像力・重ね合わせ精度
→ 配線ピッチ微細化・プロセスマージン



● **投影露光装置の生産能力を増強 (従来比2倍)**

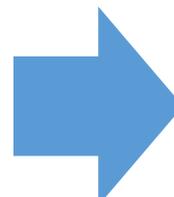


USHIO

次世代半導体量産用EUV光源
開発、生産、販売



マスク検査装置メーカー
研究開発機関



半導体デバイスメーカー等

EUVリソグラフィーの技術開発進展による次世代半導体の量産化ニーズ

検査、開発用光源のニーズ増大

ウシオのEUV光源が貢献

マスク検査用EUV光源需要増加
メンテナンス機会の増加

●ウシオのEUV光源開発の歴史

- 2000年 EUV光源開発開始
- 2001年 EUVA*設立、参画
*極端紫外線露光システム開発機構
- 2013年 リソグラフィ用途から撤退
- 2016年 オランダ研究機関TNOへEUV光源納入
- 2018年 検査用（評価用）初号機納入
- 2019年 量産ライン用初号機納入、検収

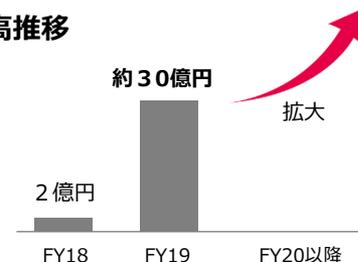
●ウシオの強み

半導体業界での長いビジネス経験

+

長年積み重ねたEUV技術
(コンパクト/高輝度/高出力)

●売上高推移



光源	レーザー		ランプ	
	RGBレーザー	蛍光体レーザー	クセノンランプ	超高圧水銀ランプ
シネマ	 <p>CP4330-RGB CP2320-RGB CP2309-RGB 他</p> <p>明るさ(lm) <40,000</p>	<p>ラインナップなし</p>	 <p>CP2308 他</p> <p>明るさ(lm) <45,000</p>	<p>ラインナップなし</p>
一般映像	 <p>D4K40-RGB</p> <p>明るさ(lm) <40,000</p>	 <p>Crimson GS シリーズ他</p> <p>明るさ(lm) <30,000</p>	 <p>Roadie 他</p> <p>明るさ(lm) <45,000</p>	 <p>Boxer 他</p> <p>明るさ(lm) <30,000</p>
本体価格	★★★★★★	★★	★★	★
本体寿命	★★★★★★	★★★★	★★★★★ (ランプ交換を実施した場合)	★★★★★ (ランプ交換を実施した場合)
色	★★★★★★	★★	★★★	★★

構造改革による収益性改善

FY18(通期)

- 中国生産移管による固定費削減
- 不採算事業の整理

FY19(~3Q)

- 拠点整理による固定費削減
- 生産性向上
- 販管費率維持の徹底

施策

- 中国生産移管は計画通り進捗
- 不採算事業の整理完了
- 拠点統廃合の実施

販売管理費 (対FY18_3Q) → **約3割削減**
人員推移 (対FY17年末) → **1割強減**

実績

新製品による売上増加

シネマ

- 仕様未達解消
- RGBプロジェクターのフルラインナップ



あらゆるスクリーンサイズに対応できるRGBレーザープロジェクターのラインナップ

一般映像

- レーザープロジェクターのラインナップ拡充 (RGB, LaPH)



・業界初*コンパクトなRGBレーザープロジェクターをリリース
・高輝度LaPHモデル追加

*自社調べ

主なRGB受注状況

HuaxiaFilm : 200台
Cineworld : 1,000台
Cinema21 : 100台 他

全DCPに占めるRGB割合

FY19_3Q : 約**4割** (前年同期 : 約1割)

主なRGB受注状況

ドバイ国際博覧会 : 250台 他

全プロジェクターに占めるRGB+LaPH割合

FY19_3Q : 約**9割** (前年同期 : 約5割)

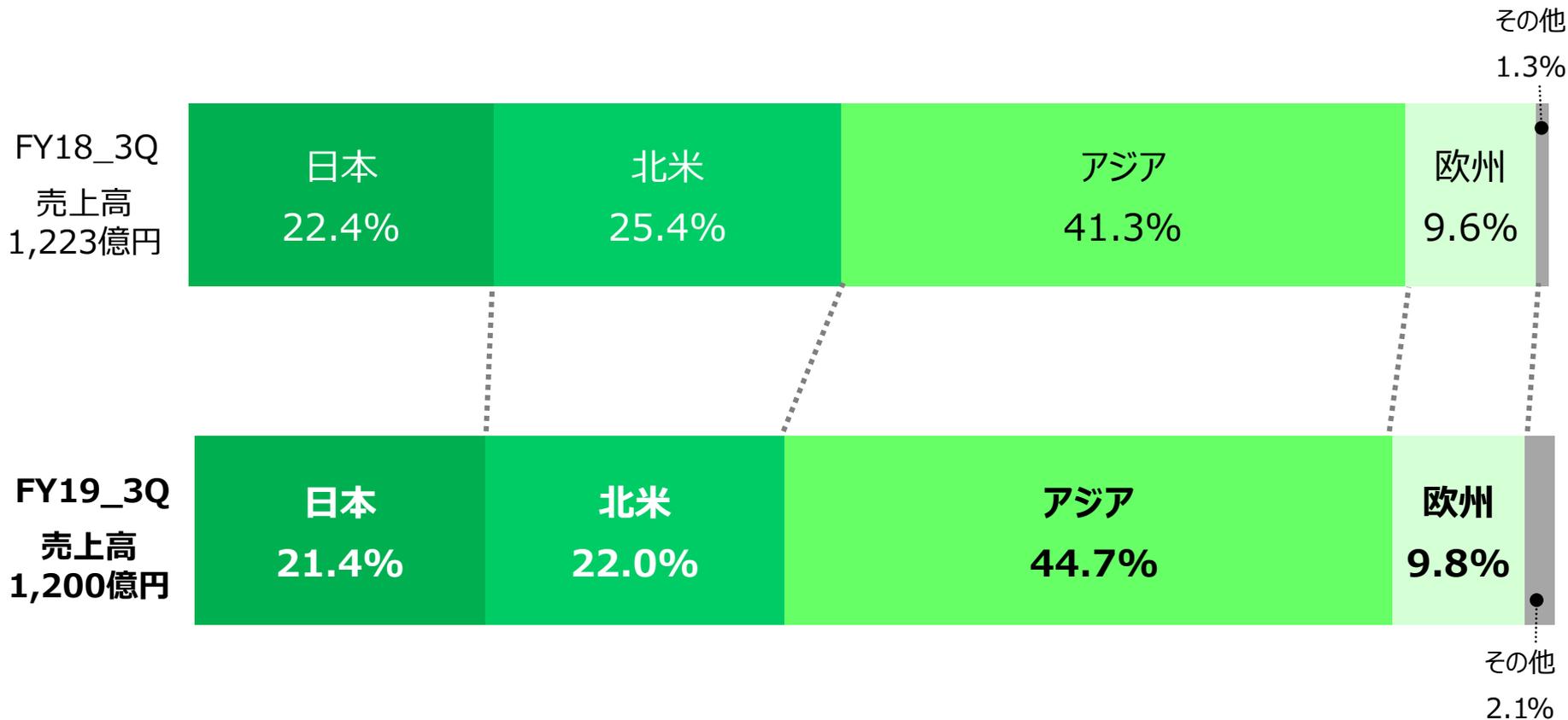
四半期推移 《損益》

単位：億円		FY18				FY19			FY19 3Q - 3Q		FY19 3Q - 2Q	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減	%	増減	%
売上高		399	426	397	427	389	430	380	▲17	▲4.4	▲50	▲11.7
営業利益		25	28	15	16	21	27	14	▲0	▲4.5	▲12	▲45.2
営業利益 (%)		6.4	6.6	3.9	3.8	5.5	6.3	3.9	▲0.0P	-	▲2.4P	-
経常利益		39	32	22	19	29	28	25	+2	+12.9	▲3	▲12.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益		22	12	21	56	12	17	57	+36	+167.4	+40	+227.1
EPS (円)		17.67	9.79	16.97	44.54	10.02	14.43	47.87	+30.90	+182.0	+33.44	+231.7
為替レート (円)	USD	108	111	113	110	111	108	109	▲4	-	+1	-
	EUR	130	129	130	126	124	120	120	▲10	-	▲0	-

四半期推移 《セグメント別損益》

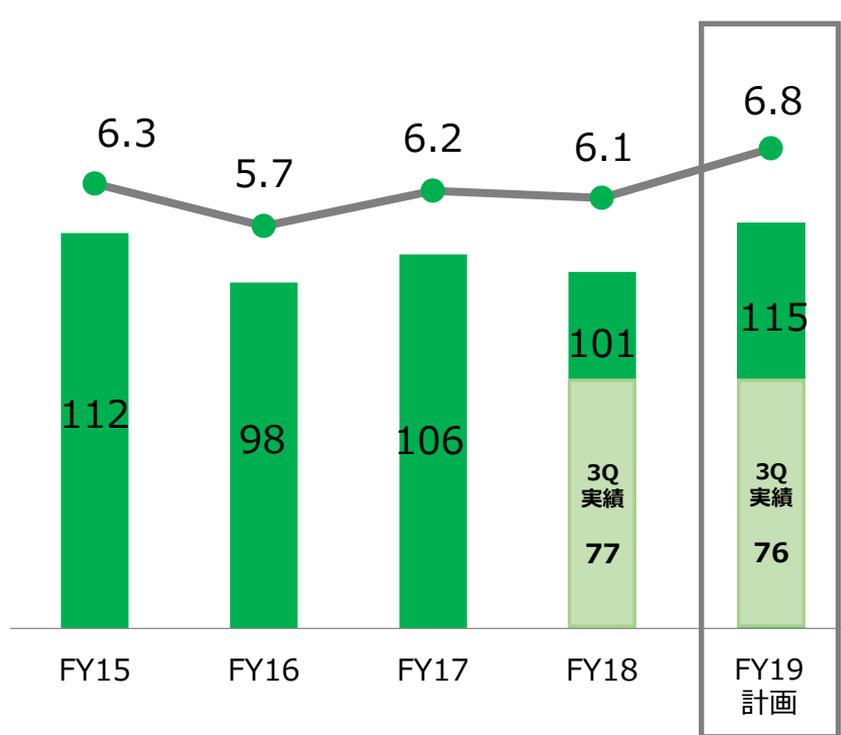
単位：億円	FY18				FY19			FY19	FY18	FY19	FY19
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	3Q - 3Q	3Q	3Q - 2Q	2Q
								増減	%	増減	%
装置事業											
売上高	218	248	219	260	227	271	229	+9	+4.3	▲42	▲15.6
営業利益	0	1	▲4	▲0	0	9	4	+8	-	▲5	▲56.0
営業利益率 (%)	0.0	0.7	▲2.1	▲0.1	0.4	3.5	1.8	+3.9P	-	▲1.7P	-
光源事業											
売上高	173	172	171	155	154	149	143	▲27	▲15.9	▲5	▲3.8
営業利益	25	23	18	16	19	16	10	▲7	▲43.2	▲6	▲37.7
営業利益率 (%)	14.8	13.4	10.8	10.6	12.5	11.2	7.3	▲3.5P	-	▲4.0P	-
その他											
売上高	7	6	7	11	7	9	7	+0	+5.0	▲2	▲25.2
営業利益	0	0	0	0	0	▲0	0	+0	+2.9	+0	-
営業利益率 (%)	3.0	3.6	3.6	2.4	2.5	▲0.0	3.5	▲0.1P	-	+3.5P	-

地域別売上高比率

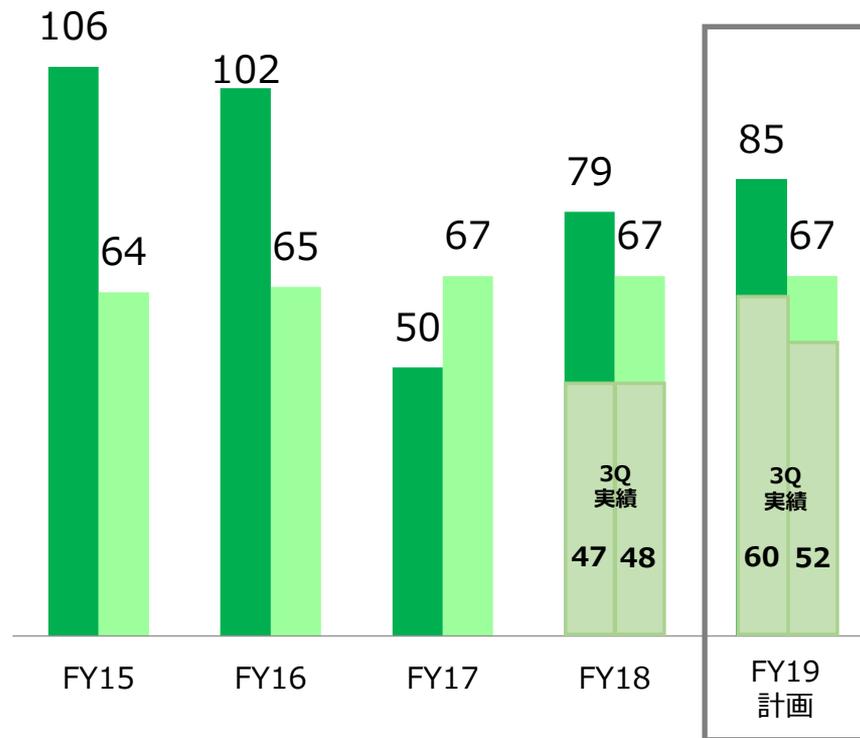


研究開発費／設備投資額・減価償却費

■ 研究開発費（億円）
 — 売上高研究開発費率（%）

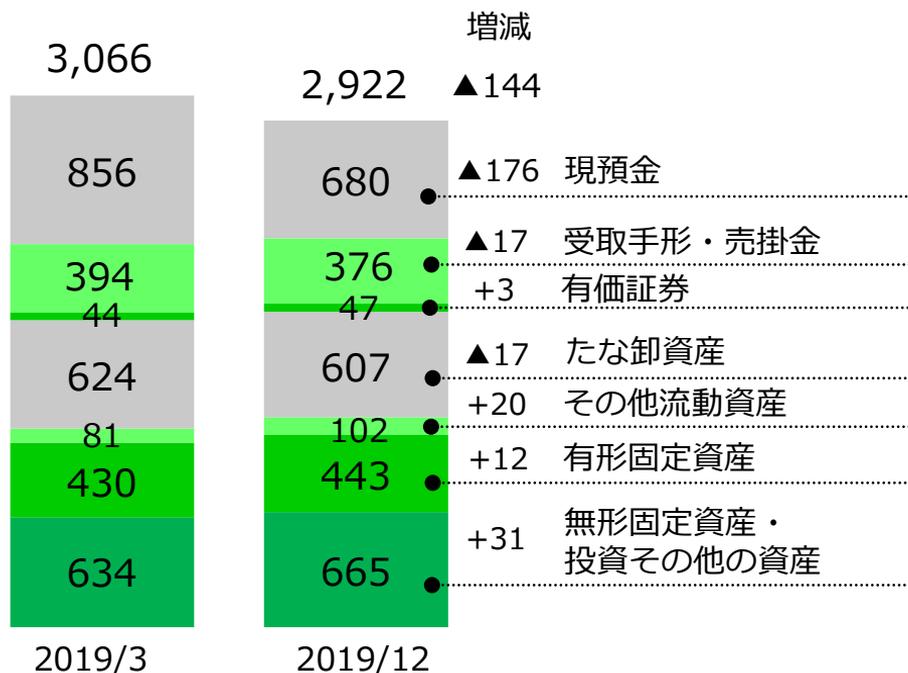


■ 設備投資額（億円）
 ■ 減価償却費（億円）

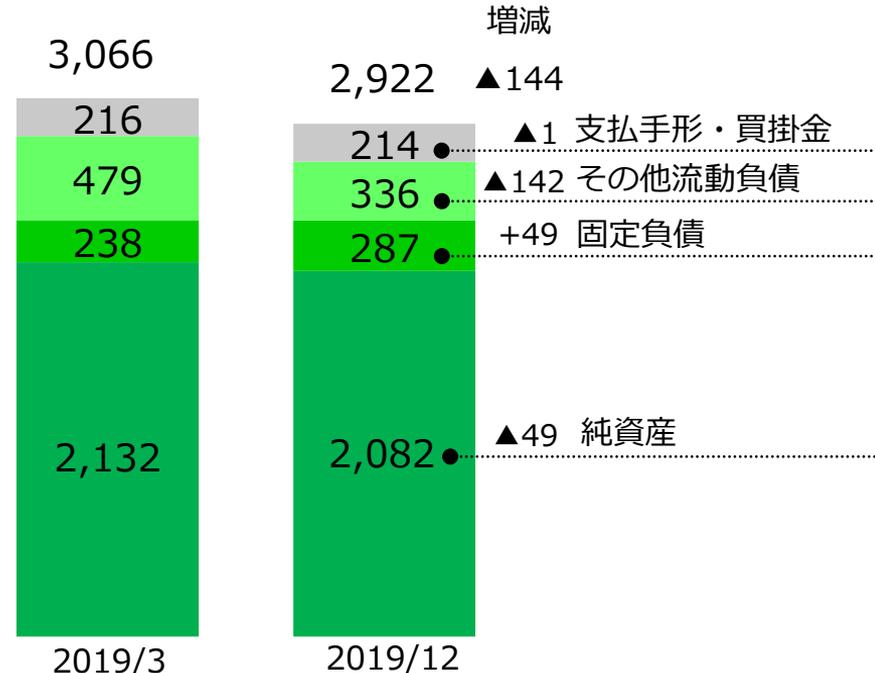


貸借対照表

◆ 資産 (億円)



◆ 負債・純資産 (億円)

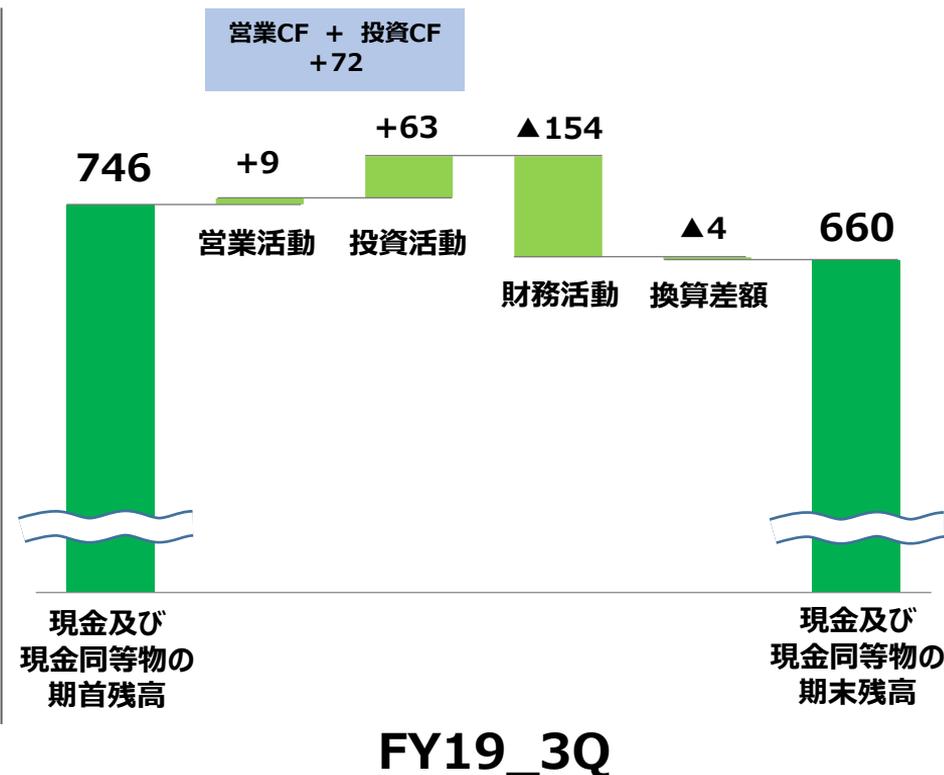
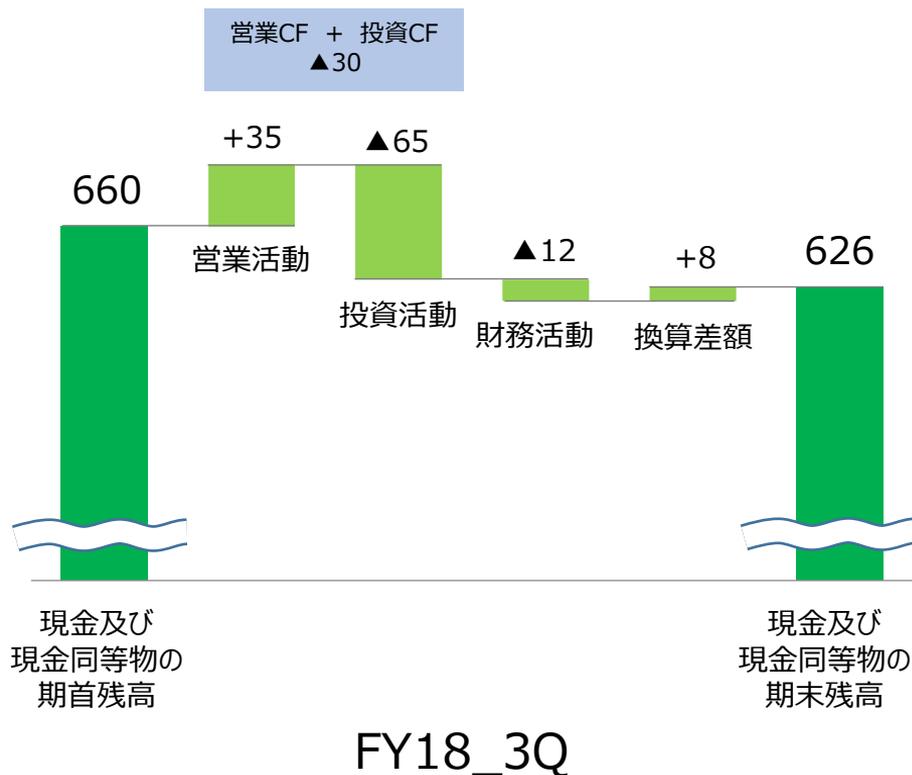


●回転月数 (ヶ月)	2019/3	2019/12
売上債権	3.0	2.9
たな卸資産	4.2	4.6

●自己資本比率 (%)	2019/3	2019/12
	69.5	71.2

キャッシュフロー

単位：億円



AI	Artificial Intelligence	人工知能
BGA	Ball Grid Array	半田ボールを格子状に並べた電極形状をもったパッケージ基板
COF	Chip on Film	フレキシブル基板などのフィルム基板上へICチップを直接実装すること
CoO	Cost of Ownership	導入コストやメンテナンスコストなどを含めた、使用者（オーナー）が負担するコスト
CPU	Central Processing Unit	中央演算処理装置
DI	Direct Imaging	マスク等を使わず、直接描画する露光方式
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
GPU	Graphic Processing Unit	画像を表示するために必要な計算を行う半導体装置
IoT	Internet of Things	モノのインターネット
LaPH	Laser Phosphor	蛍光体レーザー
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
OLED	Organic Light Emitting Diode	有機EL
RGB	Red Green Blue	光の3原色である赤（Red）、緑（Green）、青（Blue）の頭字語
TNO	The Netherlands Organization of Applied Scientific Research	オランダ応用科学研究機構
UV	Ultraviolet	紫外線
5G	5 th Generation	第5世代移動通信システム

USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）経営企画部
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<https://www.ushio.co.jp/jp/>